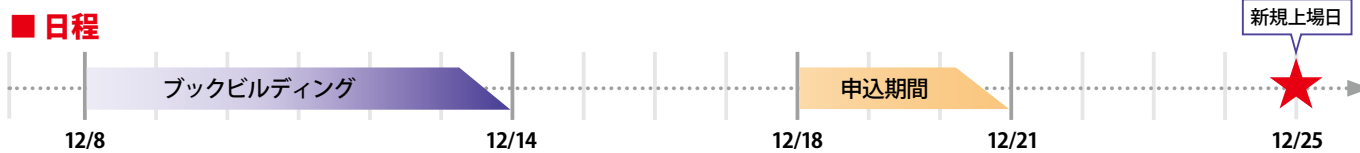


IPO銘柄 ABホテル (6565・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6565	100株	公募: 26.00万株 売出: 46.00万株 (OA10.80万株)	1,400円~1,500円 (14.9倍)	大和証券



愛知県を中心にホテル事業を展開

■ 事業内容

愛知県を中心にホテル事業を手掛ける。駅前、主要インターチェンジ付近の立地で、1店舗130室程度、想定稼働率80%、単価6,000円程度が基準。10月31日現在、17店を展開している。主にビジネスマン、ファミリー層、女性を対象とし、客室の浴室以外に大浴場を設置している。利益率確保のため、店舗開発段階からローコスト建設に取り組み、運営に関しても業務委託方式でコスト削減を図る。その半面、固定報酬とは別に、稼働率などに応じてインセンティブの支払いも行っている。顧客に対しては会員制度を設け、割引などの特典を付与し、リピート率の向上にも力を入れている。ホテル事業の単一業態。

■ 特徴

「ホリデイスポーツクラブ」を運営する東祥(8920)のホテル事業部としてスタート。当初は愛知県中心の出店だったが、2014年から全国展開を開始し、同10月に新設会社分割で同社が設立された。

アナリストコメント

■ 定量分析

18年3月期の非連結経常利益は前期比13.6%増の11億円を計画する。インバウンド需要増に恩恵を受けてホテル業界は活況。朝食のバリエーションアップなど既存店におけるサービス水準の強化を図り、インターネットを活用した広告宣伝にも力を入れている。

■ 定性分析

ビジネスホテル業界はインバウンド需要に大きな恩恵を受けて好業績となっている。訪日旅行者数は拡大を続けており、良好な事業環境は継続している。一方、IPOマーケットで敬遠されがちな親子上場であるため、やや割り引いて評価する必要もありそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は12.4億円。好地合いの中では特段の荷もたれ感もない規模でベンチャーキャピタル保有株もないため、需給面には問題がない。ただ、親子上場案件であることから買い方が勢いを欠く展開も想定しておく必要があるようだ。(小泉健太)

■ 類似企業

ABホテル(6565・JASDAQ)	予想PER14.9倍 (仮条件上限)
グリーンズ(6547・東証2部)	予想PER15.7倍
アメイズ(6076・福証)	予想PER17.4倍

■ 引受証券

大和証券、東海東京証券、SMBC日興証券、SBI証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
16年3月期(実績)	2,895	2.8 倍	944	3.3 倍	583	2.7 倍	86.9	3.30
17年3月期(実績)	3,510	21.2	968	2.6	643	10.3	95.8	3.30
18年3月期(会社予想)	4,376	24.7	1,100	13.6	681	5.8	100.4	10.00

※ 17年10月に株式分割(1株→100株)を実施。16年3月期と17年3月期のEPSおよび配当金は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
16年3月期	67,200	8,499	2,610	700	388.4	30.7	25.1
17年3月期	67,200	10,329	3,232	700	481.0	31.3	22.0

※ 16年3月期および17年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	東祥	4,200,000	62.22
2	AB開発合同会社	2,520,000	37.33
3	沓名 一樹	20,000	0.30
4	山下 裕輔	2,000	0.03
4	安藤 翔二郎	2,000	0.03
4	中川 亮	2,000	0.03
7	大津 玄	1,000	0.01
7	杉山 益彦	1,000	0.01
7	吉原 一成	1,000	0.01
7	寺田 幸祐	1,000	0.01

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	沓名 一樹
取締役(管理本部長兼経理部長)	山下 裕輔
取締役(運営部長)	安藤 翔二郎
取締役(開発部長)	大津 玄
取締役	青山 竜也
取締役	細井 英治
常勤監査役	東 隆将
監査役	小野内 宣行
監査役	光岡 要次郎

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。